



ころころ伊場だより 3月

令和6年3月 ころころ伊場

<鬼は外！福は内！～的当て遊び～>

節分会の前に鬼の絵を描きました。それを使って的当てをしました。的をよく見て上手投げで投げました。次は職員が的を動かす的当てに挑戦。的が動く的めがけ新聞ボールを投げ、「まだやる！」「もう一回やりたい！」と何度もやりました。節分当日に鬼が本当に来ても鬼退治を頑張る！と意気込んでいました。

節分会本番のときには、鬼が来ると職員の後ろに隠れながらも新聞ボールを投げ、鬼退治ができました。また福の神からもらったお菓子を食べて、子どもたちは嬉しそうでした。



<絵を描くことを通して、一対一のかかわいを>

小さな筆タンポを使って絵を描きました。タンポ筆はスタンプ遊びで使うことが多いですが、今回はスタンプとして使ったり、筆のように自由に絵を描いたりしてもいいとしました。

顔を描く子もいれば、筆タンポを使って画用紙の白い部分がなくなるように塗りつぶす子もいました。また、別の日には好きな食べ物を描いてみようかと伝えると、「バナナが好きだから」と黄色で描いたり、紫と茶色を使って「ブルーベリー」「チョコケーキ」を描いたりする子もいました。

自由画では、完成した後に何を描いたのか聞くようにしています。そのことにより、子どもと一対一のかかわりや絵で表現したことを言葉でやりとりすることを大切にしています。ご家庭でも絵を描いたときには、何の絵を描いたか子どもたちにぜひ問いかけてみてください。



<いろいろな体の動かし方を運動遊びで経験>

器具を使って運動遊びをしました。最初にバランスストーンは一步ずつ前に進むこと、最後は両足ジャンプで下に降りることを伝えるとその約束を意識して取り組む姿がありました。その他に長縄を床に置き、それを踏まないように高這いで進んだり、トンネルをくぐったりしました。今後も外遊び以外にも、運動器具を使い、いろいろな体の動かし方の経験を重ねていきたいと思っています。



<年長児・卒園までにやりたいこと…>

ころころ伊場での生活も残り少なくなってきた、子ども達の口から卒園や小学校の始まりが近づいていることを意識するような言葉が増えてきました。そこで、子ども達に卒園するまでに何をしたいかを聞き、紙に書いていきました。話を聞いていくと、今まで経験して楽しかった遊びがいくつも上がってきたり、ころころ伊場での友だちと一緒にやりたい遊びも上がってきたりと、子ども達は目を輝かせながら話をしてくれました。

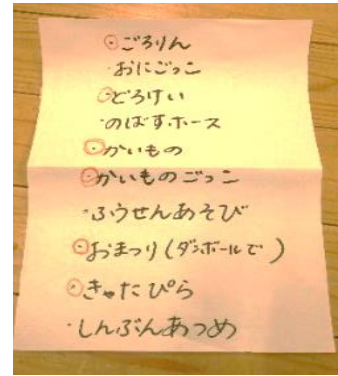
○お買い物ごっこ

チョコバナナ・キャンディー・やきそばなどを自分たちで作りました。

チョコバナナは中の新聞が見えないように巻くことを意識して、手元をしっかりとみながら丁寧に巻いたり、トッピングをペンで描いたりして本物そっくりに作りました。また、お財布を折ったり、お金をはさみできったりして、準備万端！午後の活動で、たいようクラスの友だちを招待して遊びました。お買い物する時の言葉のやりとりや、買ったものをみんなと一緒にテーブルを囲んで嬉しそうに食べていました。

○キャタピラ

大きな段ボールを使ってリレーを楽しみました。前が見えなかったり、急ぐと横に曲がってしまったりと操縦が難しい様子もありましたが、それもまた楽しさの1つ！横から時々除いて前を確認し、四つん這いで全力でハイハイして楽しみました。



<まつのき保育園にちょっと探検に…>

まつのき保育園の給食室で作られた給食を食べているけれど、まつのき保育園ってどんなところかな？探検もかねて食器を下膳しに行きました。給食室の前で、給食先生になんて言えばいいかな？と話し合い、少し緊張しながらも美味しかったことを伝えることが出来ました。

園の玄関には登り木があり、挑戦してみることに…。体育器具とは違いランダムに並んだ枝を、最初はどうやって登っていいかわからなかったり、不安定な状態からどのように手足を運べばいいかわからなかったりしましたが、職員がそばで支えながら挑戦することで、少しずつコツをつかんできて自信をもって登ろうとする子もいました。階段下には大きなトンネルもあります。一人ずつ順番に思い思いのくぐり方でくぐったり、忍者のように静かに歩いたり、乳児の部屋の横を通ってころころ伊場に戻りました。

今まであまり行く機会はありませんでしたが、少しずつ園の様子を見たり、活動でホールを使ったりしながら園や友だちと関わる機会も作っていかれたらと思っています。

